

弘前大学学報



平成28年度弘前大学表彰

第 146 号
平成28年5月号

目 次

学内ニュース

○弘前大学高大連携事業“ひろだい・ナビゲート・キャラバン in 函館”を実施	1
○リンゴとチューリップのフェスティバル開催	2
○オカムラ食品工業社長による講演会「チャンスを活かす 可能性への挑戦」を開催	3
○メキシコ合衆国のオアハカ州立自治ベニートフアレス大学と 27 校目の大学間交流協定締結	4
○『弘前大学深浦エコサテライトキャンパス』開設に関する覚書を締結	5
○特定非営利活動法人青森県消費者協会と 弘前大学人文社会科学部との連携に関する協定を締結	6
○弘前大学グローバル人材育成事業参加学生による弘前市長への漆箱贈呈	7
○テネシー大学マーチン校 (UTM) トラベルスタディを実施	8
○人文社会科学部 関根達人 教授が日本考古学協会賞大賞受賞	9
○「弘前大学表彰」表彰式を挙 行	10
○名誉教授称号授与式を挙 行	12

諸 会 議	13
-------	----

人 事

○新任教授紹介	16
○人事異動	16

主要日誌	18
------	----

学内規則	19
------	----

弘前大学高大連携事業“ひろだい・ナビゲート・キャラバン in 函館”を実施

平成 28 年 5 月 7 日(土)、ホテル法華クラブ函館において“ひろだいナビゲート・キャラバン in 函館”を実施しました。

この事業は、高校生に「大学での学び」についての魅力発信と、将来の夢を「考え・描く」きっかけを提供するとともに、弘前大学を広く知っていただくため全学規模で地域に出かけていき、模擬講義、進学相談会、現役学生の体験談を通し、弘前大学全体を紹介する高大連携事業のひとつです。

平成 27 年度に新たな試みとして青森県内を対象に始まり、今年度は北海道函館市周辺の地域を対象に行いました。

当日は、対象地域の各高校から 170 人の高校生や教員、保護者が、模擬講義や現役学生の体験談を聴講したり、進学相談会では学部毎に設けられたブースで学部の特徴を熱心に質問したりしました。高校生からは、「現役大学生の話が聞けてよかった、大学のイメージがわいた、入学したい気持ちが高まった」などの感想がありました。

全体を通し、高校生にとっては、大学の学びを体験し、弘前大学をより身近に感じてもらうよい機会となり、来年以降も函館での開催を望む声が多く寄せられ、有意義な 1 日となりました。



模擬講義の様子



交流サロンの様子



体験談を話す本学学生



進学相談会の様子

リンゴとチューリップのフェスティバル開催

平成28年5月7日（土）、8日（日）、本学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場において、リンゴとチューリップのフェスティバルを開催しました。このフェスティバルは地域の皆様に農場の教育・研究および社会貢献の成果について知っていただくために毎年開催しているものです。

農場実習で学生たちが管理しているチューリップ園には、18品種12,000本のチューリップが咲き誇り、57品種1,200本のリンゴ樹も満開を迎え、農場を美しく彩りました。その結果、約2,400人のお客様に来場していただき、活況を呈しました。

会場ではその他に、農場教員や技術職員による日頃の研究成果のポスター展示や紙芝居形式の研究紹介が行われ、チューリップやリンゴに関するたくさんの質問が寄せられました。

また、農場製品の販売コーナーでは、藤崎農場産の「紅の夢」「弘大みさき」「紅玉」のジャム、「こうこう」「弘大みさき」のジュース、金木農場産のお米が販売されたほか、様々な種類のリンゴジュースを楽しめる試飲コーナーが設けられ、長い行列ができました。

さらに、共同研究を行っている自治体・企業のブースでもリンゴ加工品や地元の野菜、堆肥、チューリップ苗など様々な商品が販売され、研究成果の一端が紹介されました。また子供たちは平川市から駆けつけてくれた農産物のゆるキャラたちに大興奮でした。きっと地元農産物への関心が高まったことでしょう。



来場者で賑わうチューリップ園



紙芝居形式の研究紹介をする様子



盛況を見せた自治体・企業のブース



来場者に大人気のゆるキャラ

オカムラ食品工業社長による講演会「チャンスを活かす 可能性への挑戦」を開催

弘前大学では、本学教職員及び学生を主な対象として、オカムラ食品工業社長による講演会「チャンスを活かす 可能性への挑戦」を、平成 28 年 5 月 12 日（木）に弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホールにて開催しました。

この講演会は、本学教職員には社会連携や地域貢献にかかるFD・SD事業として、また、本学学生には地方企業としての経営ノウハウ及びグローバル戦略の見識を深める場として開催されました。

講演会には、佐藤学長をはじめ、役員、部局長、教育研究評議員などの幹部職員、今後の地域経済及びグローバル戦略を視野にいたした学生など、約 140 名が参加しました。講演者 岡村 恒一株式会社オカムラ食品工業代表取締役からは、地方にありながらもデンマークやベトナムでのサーモン養殖や水産加工などを展開する独自のグローバル戦略、筋子の原材料買い付けが契機となった 1980 年代後半のロシアへの海外進出戦略、青森県深浦町での画期的なサーモン養殖など、今後の新たなグローバル経営の展望について自身のアグレッシブでポジティブな経験を踏まえて説明がありました。

講演後は、佐藤学長、大河原理事（社会連携担当）、学生から経営者としての社内統制・社員教育、海外販路拡大及びローカライズ手法などの質問が相次ぎました。また、今回の講演会では、学生が所有しているスマートフォンから質問事項を入力するシステムを利用しました。学生からは、合計 81 項目もの質問・意見が寄せられ、本学教職員及び学生の興味・関心が非常に高く、刺激的な講演内容であったことが分かり、講演会は盛況のうちに終了しました。



講演する岡村社長



質問する学生ら

メキシコ合衆国のオアハカ州立自治ベニートフアレス大学と 27 校目の大学間交流協定締結

弘前大学とオアハカ州立自治ベニートフアレス大学との大学間交流協定の調印が、郵送方式により相互に署名され、平成 28 年 5 月 13 日付けをもって滞りなく完了しました。

(有効期間 5 年：2016.5.13～2021.5.12)

今回の大学間協定締結は、弘前市をはじめ弘前商工会議所や地元企業の寄附による「学都ひろさき未来基金」を活用した学生の海外研修「弘前大学グローバル人材育成事業学生市民等協働プログラム」により、教員と学生数名が平成 27 年 9 月 12 日～9 月 22 日の日程でメキシコ・オアハカ市を訪問した際にオアハカ州立自治ベニートフアレス大学長より提案されました。

その後、平成 28 年 3 月 25 日にオアハカ州立自治ベニートフアレス大学からスペイン語学科長フェルナンドマルティネス氏と外国語学部教授グアダルルーペアンヘラ氏が弘前大学を訪問し両大学関係者が情報交換を行ったおり、「①スペイン語はスペイン及びラテンアメリカの 20 数カ国の公用語となっており、英語、中国語に次ぐ世界の主要な言語であり、新たにメキシコの大学と協定を締結することは弘前大学からのスペイン語圏への派遣学生の増加につながる。②メキシコは古くから日本と交流を持つ国で親日国として知られており、大学で日本語を学習する学生数も多く、ベニートフアレス大学は、日本語を学ぶ学生がいながらも、日本の大学との協定をまだ締結していないことから、本学との協定締結を強く望んでいる。」という理由から協定を締結することによって活発な双方間の学生交流の実現が期待されることが確認され、必要な手続きを経て大学間交流協定締結にいたりました。

なお、本学における大学間交流協定は、平成 21 年 12 月 28 日に締結された大連理工大学（中華人民共和国）に続いて 27 校目となり、今後の南アメリカ及びスペイン語圏地域との国際交流の拠点としての発展が期待されます。



ベニートフアレス大学との協定書



ベニートフアレス大学校舎

『弘前大学深浦エコサテライトキャンパス』開設に関する覚書を締結

本学は、平成28年5月20日（金）に深浦町役場町民文化ホールにて、滞在型学習、公開講座、講演会等の実施や課外活動団体等による地域交流活動及び大学の各種紹介資料の配付などによる広報活動、その他地域の活性化に資する事業を実施することを目的として、深浦町と弘前大学深浦エコサテライトキャンパスを設置することの覚書を締結しました。

調印にあたって、吉田深浦町長から、「弘前大学には先進的な知見があり、深浦町には豊かな地域資源と文化の蓄積がある。今回の覚書締結を機に、一層強固な関係を構築し、地方創生に結びつけたい」との挨拶がありました。引き続き佐藤弘前大学長から、「地域に出て様々な視点で地域課題等に対応し学ぶことが、本学学生や教育・研究にとって非常にプラスとなる。今回の覚書締結を機に、更なる深浦町との連携を加速・強化させ、責任を持って深浦町の支援を行いたい」との挨拶がありました。

エコサテライトキャンパスの『エコ』のネーミングについて、世界自然遺産白神山地や日本海など深浦町が持つ自然環境（エコロジー）と、環境と調和した地域経済（エコノミー）の活性化を目指す意味があります。

締結式には、深浦町から菊池副町長、坂本教育長、八木総務課長、小野会計管理者、佐藤財政課長、松沢総合戦略課長、堀内福祉課長、藤島農林水産課長、米谷観光課長、黒滝教育課長が、弘前大学からは大河原理事（社会連携担当）、堀内学長特別補佐、羽田副理事、木田保健学研究科長、橋本農学生命科学部長、嵯峨食料科学研究所長、森社会連携推進機構副機構長、曾我生涯学習教育研究センター長、松崎農学生命科学部副学部長、石川白神自然環境研究所副所長、石山総務部長、高橋施設環境部長、小山社会連携部長、長谷川農学生命科学部事務長、山田青森キャンパス事務長、小田桐社会連携課長が同席しました。



覚書を手を握手をする吉田町長㊦と佐藤学長㊧



関係者全員での記念撮影

特定非営利活動法人青森県消費者協会と
弘前大学人文社会科学部との連携に関する協定を締結

平成 28 年 5 月 24 日（火）人文社会科学部棟において特定非営利活動法人青森県消費者協会と人文社会科学部との間で連携に関する協定を締結しました。

特殊詐欺や食品偽装といった消費者問題の啓発とともに、消費者問題を啓発することができる人材の育成を目指していくことが確認されました。今後、人文社会科学部が中心となり、消費者問題に精通した人材の育成が期待されるところです。



協定書を手にする今井学部長（左）と大塚理事長（右）



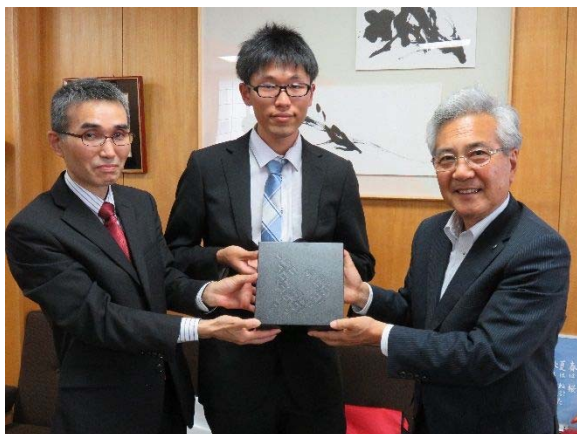
協定書を中心に記念撮影する関係者と今井学部長（前列左）

弘前大学グローバル人材育成事業参加学生による弘前市長への漆箱贈呈

弘前市をはじめ弘前商工会議所や地元企業の寄附による「学都ひろさき未来基金」を活用した学生の海外研修「弘前大学グローバル人材育成事業」により、平成 27 年度にメキシコ・オアハカ市を訪問した本学理工学部 4 年の石田大さん、教育学研究科 2 年の斎藤和彦さん、教育学部 富田晃 准教授及び大河原理事が、当該事業への支援に対する感謝とともに、海外研修の成果報告のため、5 月 26 日(木)に弘前商工会議所会頭、6 月 1 日(水)に弘前市長を表敬訪問しました。

その際、メキシコ・オアハカ市のミトラ遺跡の幾何学的文様と、オアハカ市の神話的キャラクターであるコヨーテのデザインによる、弘前市の伝統工芸である紋紗塗の技法を用い制作した漆箱が贈呈されました。この漆箱は、石田さんがデザインを手がけ、斎藤さんが実制作したものです。

この事業は、解決力、起業マインドなどを豊かにし、市民企業とともに地域活性化に貢献することを目的にしており、今年度も実施されます。



左から、斎藤和彦さん、石田大さん、葛西弘前市長



贈呈された漆箱

テネシー大学マーチン校（UTM）トラベルスタディを実施

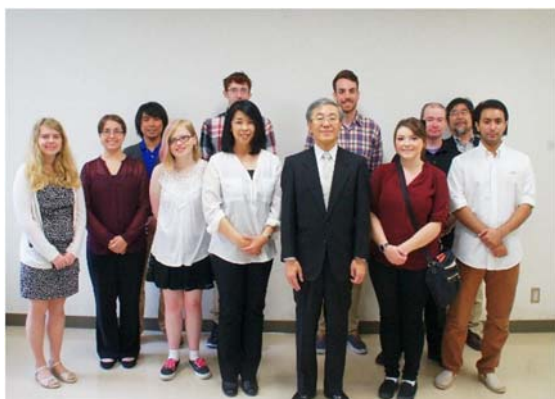
平成28年5月27日（金）から6月1日（水）の日程で、本学最初の国際交流協定締結校であるテネシー大学マーチン校（UTM）より、日本語専攻の学生9名と日本語教員のハモンド恭子氏が本学を訪問し、海外実習プログラム「トラベルスタディ」を実施しました。

このプログラムは2007年に開始され、今回が7回目の実施となります。

UTMの学生たちはプログラム期間中、弘前市在住のホストファミリー宅に滞在し、大学の講義への参加、弘前大学長表敬訪問、UTMに関するプレゼンテーション、UTM主催による感謝会などを行いました。

5月31日（火）に開催された感謝会では、UTM学生が約50名の参加者の前でそれぞれ挨拶をし、「弘前はとても綺麗なところだった。ホストファミリーの皆さんにもとてもお世話になった」などと語っていました。

UTMの学生たちは、弘前市での滞在を通して、ホストファミリーや弘前大学生、教職員との様々な交流活動を体験し、日本文化に対する理解を深め、充実した時間を過ごし、帰国の途につきました。



佐藤学長、ハモンド教員と日本語専攻学生ら



感謝会でダンスをする参加者ら



イングリッシュラウンジでの様子



感謝会での様子

人文社会科学部 関根達人 教授が日本考古学協会賞大賞受賞

平成 28 年 5 月 28 日（土）、29 日（日）の両日にわたり、東京学芸大学で開催された、考古学分野における国内最大の学会「日本考古学協会」（会員数：4,000 名超）の総会において、人文社会科学部 関根達人 教授が日本考古学協会賞大賞を受賞しました。

この賞は、考古学上の業績および関連諸分野における考古学関係の業績を賞するもので、2010 年に創設、今年度第 6 回目の受賞者として、関根教授が受賞されたものです。

関根教授の長年にわたる研究成果の一端として執筆された『中近世の蝦夷地と北方交易』（吉川弘文館・2014 年）が受賞対象となりました。



表彰状を手にする人文社会科学部 関根達人 教授

「弘前大学表彰」表彰式を挙

本学では、教育研究活動、課外活動の振興、医療活動、教育研究支援活動、大学改革の推進、社会活動、職員の模範となるような活動等において顕著な功績があった本学職員・団体及び本学との産学連携、社会連携又は教育若しくは文化活動において顕著な功績があった学外の方を「弘前大学表彰」により表彰しています。

今回は、顕著な功績があると認められた2名の本学職員、2つの学内の団体及び2名の学外の方が「弘前大学表彰」により表彰されることとなり、平成28年5月31日（火）午前10時から総合教育棟大会議室において表彰式が執り行われ、佐藤学長から表彰者に対し表彰状及び記念品が授与されました。

表彰者は次のとおりです。

【学内・個人】

○飯島 裕胤

長年にわたり金融論を専門として学生の教育研究指導に尽力し、指導する学生チームが金融分野の大学論文コンテストである「第十一回日銀グランプリ」において、東北・北海道地区の大学では初めて最優秀賞を獲得したことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの



○廣田 和美

英国王立麻酔科学会の特別会員に選出されているところ、さらに米国大学麻酔科協会の正会員に選出されたが、日本において両学会の会員に選出された者は現在まで四名のみであり、このように研究業績が世界的に高く評価されていることが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの



【学内・団体】

○高度実践被ばく医療検討委員会

文部科学省の支援により、平成20年度から緊急被ばく医療を支援する事業活動として、人材育成の体制整備・教育・研究体制の高度化・実践的プログラムの開発を行い、本学に高度実践被ばく医療人材育成グローバル拠点を形成したことが、教育研究等支援活動において顕著な功績であると認められたもの



【学内・団体及び学外・個人】

○赤い果肉りんご「紅の夢」普及推進委員会 塩崎雄之輔（弘前大学名誉教授）

リンゴの新品種の育成・品種登録及びその普及に尽力し，特に「紅の夢」においては，大学が地域経済の振興に寄与する全国に先駆けた普及モデルとして評価され，益々広がりを見せていることが，大学改革の推進等において顕著な功績であると認められたもの



【学外・個人】

○Paul Hollister（元弘前大学客員教授・非常勤講師）

平成7年から医学部医学科において医学英語の授業を担当し，学生の英語力向上及び医療面接の技術向上に大きく寄与し，さらに平成9年からは医学研究科等所属の研究者に対し英文原稿の校正等を行い，英文論文の公表数を増加させる結果をもたらしたことが，教育及び研究活動支援において顕著な功績であると認められたもの



被表彰者と関係者との記念撮影

名誉教授称号授与式を挙

本年3月31日限りで定年退職等をされ、教育上又は学術上特に功績のあった12名の本学元教授に「弘前大学名誉教授」の称号が授与されました。これにより、平成28年4月1日現在における本学名誉教授の称号を授与された方は321名となりました。

名誉教授称号授与式は、5月31日（火）午前11時30分から関係学部長、研究科長等列席の下、総合教育棟大会議室において執り行われ、佐藤学長から一人ひとりに辞令書が交付されました。

また、授与式終了後、懇談会が開かれました。

名誉教授の称号を授与された方は次のとおりです。

- | | |
|--------------|---------------------|
| ・田中岩男（人文学部） | ・水沼英樹（医学研究科） |
| ・鎌田耕太郎（教育学部） | ・奥村謙（医学研究科） |
| ・面澤和子（教育学部） | ・藤哲（医学部附属病院） |
| ・平岡恭一（教育学部） | ・深瀬政秋（理工学研究科） |
| ・土田成紀（医学研究科） | ・大町鉄雄（農学生命科学部） |
| ・高井良尋（医学研究科） | ・古屋泰文（北日本新エネルギー研究所） |



辞令書を授与する佐藤学長㊦と藤哲名誉教授㊦



会場の様子

諸会議

▼役員会

5月9日（月）

審議事項

1. 弘前大学表彰について
2. 弘前大学名誉教授称号授与について
3. 国立大学法人弘前大学新たな教員業績評価（試行）実施要項の制定について
4. 第2期中期目標期間評価に係る各学部・研究科の研究業績について
5. オアハカ州立自治ベニートフアレス大学（メキシコ）との大学間協定締結について
6. 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正等について
7. COI 研究推進機構専任教員（URA）の選考基準について

報告事項

1. 教育研究院の英語表記について
2. 新たな組織評価について
3. 平成28年度国立大学改革基盤強化促進費について
4. 平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）申請について
5. 第11回弘前大学資料館企画展開催について

5月23日（月）

審議事項

1. 弘前大学名誉博士候補者の推薦について
2. 職員の懲戒等について
3. 「弘前大学における英語力向上に向けたプロジェクト」に係る業績評価について
4. 弘前大学 COI 研究推進機構専任教員の選考結果について
5. 機器分析センターの今後の在り方について
6. 弘前大学と平川市との連携に関する協定の締結について

報告事項

1. 平成28年度国立大学改革基盤強化促進費について
2. 平成28年度「青森ブランド価値創造研究」の公募について
3. 平成28年度弘前大学科研費獲得支援事業の公募について
4. 平成29年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦について
5. 平成28年度弘前大学機関研究（新規分）の公募について
6. 平成28年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の公募について
7. 平成28年度弘前大学研究サポートスタッフの派遣決定について

-
8. 平成28年度研究倫理教育の実施について
 9. 弘前大学東京事務所の契約更新について

▼教育研究評議会

5月10日（火）

審議事項

1. 経営協議会の学外委員について
2. 弘前大学名誉教授称号授与について
3. 第2期中期目標期間評価に係る各学部・研究科の研究業績について
4. オアハカ州立自治ベニートフアレス大学（メキシコ）との大学間交流協定締結について

報告事項

1. 教員の採用等について
2. 国立大学法人弘前大学新たな教員業績評価（試行）実施要項の制定について
3. 弘前大学高大連携事業“ひろだいナビゲート・キャラバンについて
4. 平成28年度科学研究費助成事業の交付内定について
5. 研究成果の海外への情報発信について
6. 平成28年度「科学者発見プロジェクト」の募集について
7. オカムラ食品工業社長による講演会「チャンスを活かす可能性への挑戦」の開催について
8. 平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）申請について
9. 第11回弘前大学資料館企画展開催について
10. 委員会等報告
(1) 教育委員会報告（4月27日開催分）

▼教育委員会

5月25日（水）

審議事項

1. 平成29年度授業日程について
2. 平成28年度前期「学生による授業評価に関するアンケート」調査の実施について
3. 学生の協力による学修相談・支援サービスについて
4. ボランティア活動団体助成の選考について

報告事項

1. 学生寮の消防訓練の実施について
2. 日本学生支援機構奨学生の推薦について
3. 牛久保・天田育英財団奨学生の推薦について
4. 課外活動団体の結成について

-
5. 平成28年度 教員採用試験大学推薦実施状況について
 6. その他

新任教授紹介

【平成28年5月1日発令】



教授(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)

オサナイ タカオ
小山内 隆生
昇任

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年05月01日		成田 拓未	准教授(自然科学系(農学・生命科学領域)／農学生命科学部専任担当)
H28年05月01日		米田 博輝	講師(大学院医学研究科／総合地域医療推進学講座) [H33.3.31まで]
H28年05月01日		松村 功貴	助教(大学院医学研究科／総合地域医療推進学講座) [H33.3.31まで]
H28年05月01日		廣瀬 昌平	助手(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科専任担当) [H33.4.30まで]
H28年05月01日		柞木田 なつみ	助手(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) [H33.4.30まで]
H28年05月01日		宮澤 邦昭	助手(大学院医学研究科／総合地域医療推進学講座) [H33.3.31まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年05月01日	准教授(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)	小山内 隆生	教授(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)
H28年05月01日	助教(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)	對馬 恵	講師(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)

[配置換え]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年05月01日	助教(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当)	石田 祐司	助教(大学院医学研究科／総合地域医療推進学講座) [H33.3.31まで]
H28年05月16日	医療技術補助員(病院・医技)	畑中 真穂	理学療法士(病院・医技)

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年05月01日	教授(医学系(臨床医学領域)/大学院医学研究科専任担当)	加藤 博之	教授(医・総合地域医療推進学講座) [H33.3.31まで]
H28年05月01日	教授(医学系(基礎医学領域)/大学院医学研究科専任担当)	中路 重之	教授(医・オーラルヘルスケア学講座) [H29.3.31まで]
H28年05月01日	准教授(医学系(基礎医学領域)/大学院医学研究科専任担当)	高橋 一平	准教授(医・オーラルヘルスケア学講座) [H31.3.31まで]
H28年05月01日	企画担当理事	吉澤 篤	国際連携本部長 [H30.1.31まで]
H28年05月01日	教授(地域イノベーション学系(戦略的融合領域)/食料科学研究所専任担当)	中井 雄治	食料科学研究所副研究所長 [H29.3.31まで]

[休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年05月01日	助手(医学系(基礎医学領域)/大学院医学研究科専任担当)	駒目 瞳	育児休業開始 [H29.3.31まで]
H28年05月15日	看護師(病院・看護)	対馬 真菜美	育児休業開始 [H29.3.31まで]
H28年05月24日	看護師(病院・看護)	菊池 瑞規	育児休業開始 [H29.3.31まで]
H28年05月26日	看護師(病院・看護)	中嶋 江梨菜	育児休業開始 [H29.3.31まで]

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年05月03日	看護師(病院・看護)	早川 美咲	休職開始 [H28.6.30まで]
H28年05月19日	教諭(教育・特支)	石田 千里	休職開始 [H28.5.31まで]
H28年05月24日	教授(自然科学系(安全システム工学領域)/大学院理工学研究科専任担当)	児玉 安正	期間延長 [H28.8.10まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年05月31日	事務職員(人文社会科学部)	古川 牧子	任期満了
H28年05月31日	看護師(病院・看護)	勝瑞 彩乃	辞職

主要日誌

- 5月 7日 弘前大学高大連携事業 “ひろだい・ナビゲート・キャラバン in 函館”
 - 〃 リンゴとチューリップのフェスティバル
- 9日 第457回役員会
- 10日 企画戦略会議
 - 〃 教育研究評議会
- 12日 オカムラ食品工業社長による講演会「チャンスを活かす 可能性への挑戦」
- 13日 メキシコ合衆国のオアハカ州立自治ベニートフアレス大学と
27校目の大学間交流協定締結
- 17日 事務連絡会議
- 20日 『弘前大学深浦エコサテライトキャンパス』開設に関する覚書締結
- 23日 第458回役員会
- 24日 特定非営利活動法人青森県消費者協会と人文社会科学部との連携に関する協定締結
- 25日 教育委員会
- 27日 テネシー大学マーチン校 (UTM) トラベルスタディ
- 31日 「弘前大学表彰」表彰式
 - 〃 名誉教授称号授与式

学内規則

(平成28年5月13日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学公印規程

業務上の必要により、学長が必要と認めた職印として「放射線安全総合支援センターの長の印」を作成することに伴い、当該公印の管守責任者を定めるため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年5月13日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程

○国立大学法人弘前大学個人情報開示等手続規程

情報公開及び保有個人情報の開示・訂正・利用停止に係る審査請求があった場合の諮問手続き及び諮問に係る様式の見直し等を行うため、上記の規程を一部改正した。

弘前大学学報第146号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111